

「公印省略」

5 福高体連第 5 号－ 1 4  
令和 5 年 4 月 1 0 日

各高等学校長 殿

福岡県高等学校体育連盟会長

令和 5 年度  
福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会筑豊ブロック予選会  
兼 全国高等学校総合体育大会筑豊ブロック予選会  
兼 全九州高等学校体育大会筑豊ブロック予選会 開催について（通知）

標記のことについて、別紙要項とおりに開催しますので、ご連絡いたします。

## 開 催 実 施 要 項

- 1 大会名 令和5年度福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会 筑豊ブロック予選会  
兼 全国高等学校総合体育大会 筑豊ブロック予選会  
兼 全九州高等学校体育大会 筑豊ブロック予選会
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟、福岡県教育委員会、福岡県卓球協会
- 3 後援 飯塚市教育委員会、筑豊卓球協会、西日本新聞社
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟卓球専門部
- 5 期 日  
(1)競 技 令和 5年 5月 3日 (水・祝) 9:00集合 (シングルス)  
令和 5年 5月 4日 (木・祝) 9:00集合 (ダブルス・団体)  
令和 5年 5月 5日 (金・祝) 9:00集合 (団体)
- 6 会 場 飯塚市総合体育館  
飯塚市鯉田1560-5
- 7 競技規則 現行日本卓球協会ルールによる。
- 8 競技方法 学校対抗団体戦 (4~6名編成による2単1複2単・3点先取)  
・シングルス戦・ダブルス戦共にトーナメント方式を原則とする。
- 9 引率・監督について  
(1)引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員 (地方公務員法第22条の2に示された者) 又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員 (地方公務員法第22条の2に示された者) 又は校長とする。  
(2)監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入することを条件とする。
- 10 参加資格  
(1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。  
(2)選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。  
(3)日本卓球協会に登録された者 (チーム) であること。  
(4)年齢は、2004年 (平成16年) 4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(5)チームの構成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。  
(6)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(7)転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) ただし、一家転住等やむを得ない事由による場合は、卓球専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りでない。  
(8)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。  
(9)その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。  
(10)参加資格の特例

- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外、(3)～(9)の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回限りとする。
- ウ 学年の区分が設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までとする。

- 11 参加制限 学校対抗 団体戦 各校男・女各1チーム  
シングルス戦 各校男・女各16人以内  
ダブルス戦 各校男・女各8組以内
- 12 参加申込  
(1)高体連の参加申込に記載される生徒個人情報について  
利用目的等 ・大会競技プログラムまたは福岡県高体連ホームページへの記載  
・参加資格の確認(年齢・転校等)  
・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみを公表する事とする。
- (2)参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。
- (3)申込先 〒820-0003 飯塚市立岩1730-5  
福岡県立嘉穂東高等学校内 大塚 洋一 宛  
FAX. 0948-23-8813
- (4)申込期日 令和5年4月27日(木)17:00必着で郵送またはFAXしてください。  
なお、不参加の場合も斜線を引いて返信してください。また FAX申し込みの場合は、学校長の朱印のある原本を大会当日必ず提出してください。
- 13 個人情報及び肖像権について  
上記取り扱いについては、高体連 HP「個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」に記載のとおりとする。
- 14 表彰 団体、シングルスともに上位4位までに賞状を授与し、併せて団体優勝については優勝旗・優勝盾を授与する。
- 15 取得制限 団体戦の男子上位4校、女子上位2校、シングルス戦の男子上位16名、女子8名、ダブルス戦の男子上位8組、女子上位6組は福岡県大会の出場権を得る。
- 16 服装規定  
(1)選手の服装は競技規則に定められたものであること。上衣の背に日本卓球協会指定のゼッケンをつけること。  
(2)学校対抗でベンチ入りする監督、選手は競技規則に定められた色以外の服装を禁止する。
- 17 試合球 日本卓球協会公認球(プラスチック硬球40mmホワイト)
- 18 その他  
(1)競技団体のガイドラインを熟読し、参加に関しては保護者の同意を求める。  
(2)申込み後の変更は、特別の事情のないかぎり認めない。  
(3)個人戦のアドバイザーは当該校の卓球協会の監督章を付けた監督、またはゼッケンを付けた選手のみとする。  
(4)参加者の負傷については応急処置のみおこなう。  
(5)会場内で出したゴミは必ず持ち帰ること。貴重品は各チームで管理すること。
- ※問合せ先 福岡県立嘉穂東高等学校 大塚洋一 Tel 0948-22-0071

# 参加同意書（各校顧問保管）

令和5年 月 日

高等学校長 殿

保護者氏名（自著か、押印をお願いします）

\_\_\_\_\_ 印

生徒氏名 \_\_\_\_\_

私は、令和5年度福岡県高等学校総合体育大会卓球選手権大会筑豊ブロック予選会（兼 全国高等学校総合体育大会・全九州高等学校体育大会福岡県筑豊ブロック予選会）参加を希望するにあたり、以下の注意事項に従い参加することに同意します。

- ①マスクを持参し、卓球を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用すること。
- ②こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること。
- ④会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑤感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑥大会終了後2日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。
- ⑦大会前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること。
- ⑧タオルの共用はしない。
- ⑨飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない。
- ⑩卓球台の上で手を拭かない。
- ⑪シューズの裏を手で拭かない。
- ⑫握手などの身体を接触させる挨拶は行なわない。
- ⑬不要な声出しはしない。
- ⑭上記の事項を遵守できない場合には、主催者が、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがありうることを

2023年3月18日 日本卓球協会理事会承認

## 日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

(2023年3月18日版、2023年5月7日まで)

日本卓球協会では、各地域での卓球練習、競技大会の開催を念頭に『新型コロナウイルス感染症対策』を作成しました。このガイドラインは、日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに国際卓球連盟（ITTF）のガイドラインに掲載されている競技特性を踏まえた注意事項等を加味して作成してきました。このたび、2023年5月より感染症法に基づく二類感染症から五類感染症に位置づけされること、また厚生労働省が発表し3月13日から実施されている、以下のURL「マスクの着用について」を受けて、ガイドラインを大幅に改訂いたしました。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html)

このガイドラインは、2023年5月7日までの当面の指針であり、五類感染症となる本年5月8日以降については、各地の都道府県知事の方針に沿ってご対応いただくこととし、『新型コロナウイルス感染症対策』ガイドラインは撤廃します。従いまして、5月8日以降は、各地の都道府県の知事方針に沿った対応をお願いします。また今後にも備え、一般的な感染症に対するガイドラインを新たに作成する予定です。なお、ここに述べる感染対策は現段階で得られている知見に基づくものであり、今後の科学的根拠の蓄積や、流行状況の変化に応じて随時変更されてゆくべきものです。従って、適宜改訂を予定しております。ご利用の際には2023年3月18日の最新版であることをご確認下さい。このガイドラインに従うことで必ず感染を防御できるというのではなく、その時の環境、感染状況などを考慮して、現場にいる方の適切な判断で、臨機応変な対応が必要です。また、地域によって流行状況が大きく異なることや、都道府県単位で方針が異なります。練習、競技大会の計画・開催等に当たっては、各地域の自治体の方針に従うことが前提であり、地域の最新情報のご確認も併せてお願い申し上げます。大会開催の参考として、上述の日本スポーツ協会による「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(令和4年12月26日改訂版、令和5年3月9日追補版)」をご覧ください。

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（2022年12月26日改訂版）」

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline\\_R4\\_1226.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R4_1226.pdf)

「スポーツイベントの開催における感染拡大予防ガイドライン（追補版）令和5年3月9日公表」

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline\\_R5\\_0309.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/somu/doc/guideline_R5_0309.pdf)

なお新型コロナウイルス感染症に関する詳細な情報（症状・検査・ワクチン等）に関しては、下記の厚生労働省や日本感染症学会のホームページ等をご参照下さい。

厚生労働省新型コロナウイルス感染症について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

日本感染症学会 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

[https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content\\_id=31](https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31)

2023年3月18日 日本卓球協会理事会承認

### (1) 留意事項

- ① 施設の使用時は、都道府県知事の感染防止方針に準拠する。
- ② 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ③ 過去7日間以内で以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めること。
  - " 新型コロナウイルス感染症と診断されている場合
  - " 新型コロナウイルス感染症と診断された方との濃厚接触がある場合
  - " 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がある場合
  - " 風邪の症状（咳、のどの痛み、頭痛、腹痛、下痢など）がある場合
  - " 倦怠感（だるさ・体が重い・疲れやすいなど）、呼吸困難（息苦しさなど）がある場合
  - " 嗅覚や味覚の異常がある場合

### (2) 消毒液の設置 競技場入り口には、70%アルコール（エタノール）などの手指消毒薬の配備を推奨する。

### (3) マスクの着用について

- ① 本年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となった。
- ② しかし、感染拡大防止対策として、マスクの着用が効果的である場面、例えば三つの密（密閉・密集・密接）などでは、マスクの着用を推奨する。

### (4) 競技場での留意事項

- ① 広さに応じて、一度に練習する参加者数が密にならないように留意すること。
- ② 十分な換気に配慮すること。
- ③ ミーティング等において、三つの密（密閉・密集・密接）を避け、感染対策に十分に配

慮すること。

(5) 競技中について

- ① タオルの共用はしない。
- ② 卓球台の上で手を拭かない。
- ③ シューズの裏を手で拭かない。

(6) 飲食

- ① 飲料は自分専用のもを飲み、回し飲みはしないこと。
- ② 水分補給や食事中は、お互い間隔をとり、向かい合っの食事は避けること。

卓球競技大会開催時の感染防止策について（主催者向け）

競技大会開催時の感染防止策については、都道府県知事の方針に反しないことが大前提です。その上で大会主催者は、その運営に当たり以下の事項にご留意下さい。

(1) 競技大会の企画、参加者募集時の留意事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
- ② 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ③ 有観客で開催する場合は、以下の事項に留意する。
  - " 体温チェック等を行い入場の可否を検討する。
  - " 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、事前に観客席の数を減らすなどの対応をとること。
  - " 会場で声を出して応援する際はマスクを着用すること。
- ④ 大会前日から7日間以内で以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求めることを事前に周知する。
  - " 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある
  - " 風邪の症状（咳、のどの痛み、頭痛、腹痛、下痢など）がある
  - " 倦怠感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難（息苦しさなど）がある
  - " 嗅覚や味覚の異常がある
- ⑤ 参加者に以下の項目の遵守を文書等にて周知する。
  - " 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
  - " 大会終了後 2 日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに報告すること

(2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置することが望ましい
  - ② サーモグラフィーや非接触体温計などを設置することが望ましい
  - ③ クラスタ発生時の対応のため、従来通り大会エントリー時に申請された代表者もしくは個人参加の連絡先を保管しておく。（氏名、電話番号）
- ※ 個人情報の取扱いに十分注意する

(3) 競技会場内の換気

- ① 換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと
- ② 競技場内の部屋（役員室、更衣室）の利用にあたっては、十分な換気を行うこと

会員各位

福岡県卓球協会

卓球競技大会参加申込にあたっての留意事項

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、生活様式が一変したことと存じます。新型コロナウイルス感染症は 2023 年 5 月 8 日から感染症法に基づいた二類感染症から五類感染症となります。しかし未だ新型コロナウイルス感染症の流行は根絶されたわけではございません。大会開催時には引き続き感染対策を遵守していただければと存じます。早速ですが、本大会への参加にあたって、以下の項目についてご協力を頂ければと存じます。何卒宜しくご協力のほどお願い申し上げます。

- 1. 大会前7日間以内で以下の事項に該当する方は、参加をお見合わせ下さい。
  - " 平熱を超える発熱（おおむね 37 度 5 分以上）がある
  - " 風邪の症状（咳、のどの痛み、頭痛、腹痛、下痢など）がある
  - " 倦怠感(だるさ・体が重い・疲れやすいなど)、呼吸困難（息苦しさなど）がある
  - " 嗅覚や味覚の異常がある
- 2. 感染防止のために主催者が決めたその他の措置をお守り頂き、主催者の指示には従って下さい。
- 3. 大会終了後 2 日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告して下さい。

連絡先：嘉穂東高等学校 大塚洋一 電話番号 0948-22-0071